

記入例 (推奨版 Ver.1)

1.廃棄する機器の所有者[青い字]

・A票に記入。

2.取次者[茶色の字]

・C票の欄に記入。

3.フロン回収業者[紫の字]

・E票の欄及び「回収量等」欄に記入。

・帳簿の代わりに記録する場合は、F票に記入。

※赤い字の項目は必ず記載してください。
記載がないとフロン回収・破壊法に適合した書面になりません。

機器の整備時の回収業者の記録としてこの管理票を利用することができる

代表者又は担当部署を統括する責任者の署名又は記名・押印

代表者又は担当部署を統括する責任者の署名又は記名・押印

第一種フロン回収業者は、必ず都道府県知事の登録を受けており、その登録番号を記載。都道府県のホームページ又は、窓口で閲覧、確認できる。

依頼をする回収業者の名称等

これ以下は、回収業者の記録として帳簿の代わりになります。

処理方法について1~4のいずれかに○印及びその量

[処理業者が記入]
処理先の受入証明や処理証明が必要な場合に利用できます。

機器整備・修理 (機器の整備・修理時に使用する場合は、左記にシ点を記入)

伝票番号 111222334

委託確認書を交付する日

廃棄する機器の所有者等 (第一種特定製品 廃棄等実施者)

機器所有者の氏名又は名称 (株)青空商事

交付年月日 2011年11月4日

上記の住所 〒333-2212 〇〇県青空市元町3-4-5

電話 4567-1234

担当責任者 部署名 〇〇部 氏名 田中三郎 (印) FAX 4567-1233

機設を廃棄する者の会社名(氏名)及び住所

引取を依頼するフロン類が充てんされている機器がある建物名及びその場所

整備する場合: 整備する機器の所有者等 (第一種特定製品の整備の実施者)

廃棄する機器の種類及び台数 青空ビル1階 〒333-2345 〇〇県環境市中央1-1-1

エアコンディショナー 10台 冷蔵庫及び冷凍機器 50台

建物解体(含修繕・模様替え)の有無(下記該当に○印) 解体(修繕等)あり 解体(修繕等)なし

エアコンディショナー:人の冷暖房冷媒機器及び冷凍機器:物を冷却する機器

フロン類の引渡先 フロン回収業者に直接依頼する(回収業者欄に記入) 取次者に委託する(取次者欄に記入する)

取次者 (整備の場合: 整備者)

取次者の氏名又は名称 再生建設(株)

引取年月日 2011年11月15日

上記の住所 〒441-1234 〇〇県再生市下町2-1-1

電話 7788-9900

担当責任者 部署名 〇〇部 氏名 山本四朗 (印) FAX 7788-9901

C票を回収業者に回付した日

フロン回収を委託する取次者の名称等及び住所

フロン回収を完了した日

フロン回収業者 (第一種フロン類回収業者)

登録番号 567890

フロン類引取先年月日 2011年11月21日

引取証明書交付年月日 2011年11月22日

回収場所 〇〇都道府県

回収業者の氏名又は名称 冷媒回収設備(株)

回収技術者氏名 回収太郎

上記の住所 〒123-4567 〇〇県回収市本町2-2-2

電話 2468-1357

担当責任者 部署名 〇〇部 氏名 小林七郎 (印) FAX 2468-1359

フロン回収の現場に立ち合ったもしくは回収した十分な知見を有する回収技術者

代表者又は担当部署を統括する責任者の署名又は記名・押印

下記のとおりフロン類を回収しました。

回収量等	CFC		HCFC		HFC		計	
	台	Kg	台	Kg	台	Kg	台	Kg
エアコンディショナー		10		300		10		300
冷蔵庫及び冷凍機器					50	60	50	60
計		10		300	50	60	60	360
銘板に記載されている充てん量(判る範囲で記入する)					10	65		395

フロンが回収できなかった場合の要因及び台数 1 要因: 室外機コンデンサー腐食による穴あき

回収業者が自社の管理のために自由に使用

実際に回収した冷媒の種類と量及び機器の種類と台数

回収できなかった要因を判り易く記入

回収フロン処理証明書(処理の記録)

F票は回収量や下記の処理量等を記録する帳簿等として使用できます。その場合、回収業者は、F票を5年間保存する。

回収冷媒等	フロン類の種類の内訳	R	R	R	R	R	R	R	R
	22	100	22	100	22	100	R	R	R
	ABC-0123	ABC-0124	ABC-0125	ABC-0126					

回収した冷媒の種類の詳細

回収冷媒を入れたボンベ

処理方法及び処理量

処理方法	再利用 破壊等 (1, 2, 3, 4のいずれかに○)	CFC		HCFC		HFC		合計		備考
		Kg	Kg	Kg	Kg	Kg	Kg	Kg	Kg	
1	再利用									回収フロンを「3. 省令7条認定管理センター」へ引渡す際、処理方法(破壊または、再利用)を明示して引き渡した場合は、その内訳を下記に記載して下さい。 ⇒(再利用 kg) 破壊 kg
2	破壊		300		60		360			
3	省令7条認定管理センター*									
4	保管									

名等 再利用先 名称 フロン破壊処理(株) 電話 5555-6789 FAX 5555-6790

住所 〒234-5678 〇〇県管理市中町3-2-1

処理先引渡年月日 2011年12月5日

処理先へ回収冷媒を引き渡した日

※(省令7条認定管理センター): フロン回収業者が回収したフロンの引渡先として、フロンを再利用する者又はフロン破壊業者に確実に引渡す者として都道府県知事が認めた者

処理証明書

処理受入日 2011年12月5日 処理日 2011年12月6日 認定・許可番号 22H1234

上記のとおりフロン類を処理(受入、破壊、再利用)しました。

名称 フロン破壊処理(株) 管理責任者名 斉藤十郎 (印)

破壊事業者であれば、国の許可番号、省令第7条認定の管理センターであれば、都道府県の認定番号(無いところもある)